



第 1442 回例会 2016 年 11 月 22 日(火)12:30 開会点鐘 番伊にて ロータリーソング「我等の生業」

クラブフォーラム「グループディスカッション」

第 1441 回例会(11/15)報告

進行：中越 SAA

◎開会点鐘

◎会長挨拶 戸田 会長

本日のゲストは、地区ロータリー財団委員会 副委員長 黒川伸一さまです。昨年までは委員長を務めていましたので、財団の運営、仕組みなども詳しくお聞きできると思います。

今年は、当クラブの創立 30 周年の記念事業として、ロータリー財団に 3,000 ドルを寄付させていただきました。またロータリー財団 100 周年を記念してニコボックスから地区に 50,000 円も寄付させていただきました。有意義に使っていただきたいと願っております。

さて、このところ寒さも和らぎ、ポカポカした陽気の「小春日和」が続きますが、ちょうど今頃をさした表現だそうです。ややもしますと、「春」という言葉から 3 月ごろの春先を連想しますが、「小春」は旧暦 10 月の異称で、新暦では 11 月を表しているようです。私自身も、心も体も穏やかな日が続くことを願っております。本日もたくさんの出席ありがとうございます。

◎幹事報告 寺田 幹事

・ロータリー適用相場 11 月 1 ドル=102 円

◎出席報告 長坂 クラブ奉仕委員

会員総数 46 名(内、出席規定適用の免除者 4 名)出席者 30 名

◎カーメル市 100 周年記念パレードの映像

◎ニコニコ箱紹介 田中 クラブ奉仕委員長  
地区ロータリー財団副委員長 黒川伸一 様

本日はロータリー財団月間の卓話にお呼びいただきありがとうございます。

戸田 地区ロータリー財団副委員長黒川様、卓話よろしくお願ひします。

高橋 地区ロータリー財団副委員長黒川様ようこそ七尾みなと RC へ、卓話に大変興味があります、大変たのしみにしております。

中野 皆さん今日は 11 月 15 日は何の日かご存知ですか?①かまぼこの日 ②坂本龍馬の誕生日であり命日でもあります。③そして中野芳一が生まれた日でもあります。

多田 旅館組合理事会が午後 3:30 になりました！黒川様ようこそ！卓話楽しみです。

中越、松井、岡崎、間蔵、奥井、木下敬夫、山田、魚岸、井田、勝木、桑原、寺田、山本勝義

黒川地区ロータリー財団副委員長、本日は卓話ありがとうございます。

ゲスト黒川様より卓話謝礼をニコニコ箱にご寄附頂きました。

11/15 日計 31,000 円 累計 514,000 円

◎ゲスト卓話『ロータリー財団 100 年』

地区ロータリー財団委員会

副委員長 黒川伸一 氏

こんにちは黒川伸一です。理化学機器、硝子製品の製造、医薬品製造メーカーの品質管理や試験・研究関係の機器・備品を納めております

月	日	曜	プログラム	週報担当
11	22	火	クラブフォーラム「グループディスカッション」	今井
11	29	火	会員卓話 寺田 彰 会員	多田
12	6	火	年次総会	浅野
12	13	火	会員卓話 茶谷義隆 会員	奥井
12	20	火	クリスマス親睦家族例会 [18:30 あえの風]	勝木

会 長 戸田 一明  
副 会 長 森 仁志  
副 会 長 鳥畑 弘  
幹 事 寺田 彰  
広報ニューメンバーズ委員長 今井 富夫

創立1986年6月15日  
RI 認証1986年6月26日  
【国内第1721】





今年、ロータリー財団は100周年を迎えました。1905年、ポール・ハリスがロータリークラブを創設し、1917年にアーチ・クランプがロータリー財団を作りました。

毎年、七尾みなと RC さんより財団に沢山寄付をいただいております。本日はそれ以上に寄付していただけるようにお話にまいりました。米山奨学金は海外から来る優秀な学生を金銭的に支援し寄付されたお金はきちんと使われていますが、ロータリー財団も100年前から寄付をロータリーのためにきちんと使ってきました。ただ一般のメンバーは寄付はしたが何に使われているか分からない。無駄に使われて欲しくないと考えている。

1917年、当時のロータリー会長のアーチ・クランプが「世界で良いことをするための」基金の設立を提案し、この基金が1928年に「ロータリー財団」と名付けられ今日に至っています。1917年にカンザスシティクラブから当時26ドル50セントが初めて寄付された。1947年、ポール・ハリスが死去すると、彼の遺徳を偲んで多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられた。最初の補助金は青少年の育成に使用された。この頃は米国国内だけのものですが、だんだん全世界に広がっていった。

今、ロータリアンは全世界に約120万人います。日本には約8万9千人。2610地区には65クラブ、約2600人メンバーがいます。2610地区からは毎年約30万ドル寄付しています。申請すれば、半額の15万ドルが3年後に地区に還ってくる。今までにGSEに使われ、5年前、10年前にカナダチームとフランスチームが来て65クラブを全部訪問し、こちらでも5名のメンバーが相手国に行って1ヶ月間まわってきた。こういうものに費用を使っていました。日本から海外に行く優秀な奨学生1名に対し1万2千ドル補助し、だいたい5~6名を派遣している。過去40年間でこの地区から約2千名を海外に派遣している。マッチング・グラントや3Hプログラムも行った。

ロータリー財団の1番の目的はポリオの撲滅です。1979年にフィリピンの600万人の子供に初めてポリオワクチン接種したが、ポリオ撲滅のため全ての子どもに確実にワクチンを接種しなければならぬ。ビル・ゲイツが計3億ドル寄



付し、ロータリーも同額を出した。今までに20億ドル以上が使われたが、そこまでもポリオを撲滅できない。10月24日が「世界ポリオ・デー」です。まだポリオがあるのはパキスタンとアフガニスタンの2国のみ。今ここで接種を止めると今までのお金が無駄になるし、やってきた努力も無駄になる。どうしてもロータリーで完結したい。ロータリーの事業は単年度であるための問題がある。例えば、モンゴルに何百万もかけて1本の井戸を掘りやっとならぬ水が出た。さあ終わったということで帰った。井戸は残ったがその後はどうでしょう。地元の人がポンプが壊れたとか、出た水が濁っているとかなかなか次に繋がらない。それではもったいない。継続してそれをちゃんとしようという意識が変わってきて、次の年にポンプのメンテナンスをする。水を浄化する。浄化した水をどうやって配るかを考えて、1本の井戸を生かして行こうと。

2013年から地区の補助金については、申請すればクラブが主催する事業に使えることになりました。自分の寄付したお金が自分のクラブで使えるのであれば寄付を出そうかという気になる。毎年の寄付は3年後に使える。今年寄付がゼロであれば3年後は使えない。継続して寄付が必要となる。七尾みなと RC さんでは毎年3~4千ドル寄付しており、それにプラス通常の寄付があるから5千ドルにもなる。貴クラブでしかできない事業を考え実行していただきたいです。

もう一つグローバル補助金がありますが、これは6つの重点分野に使える。これは日本国内ではなかなか使えない。海外において3万ドル以上の事業は1つのクラブではやれない。多額の寄付を3年間寝かして、3年後に寄付した地区に半額を還すというシェアシステムをやっている。地区の補助金とグローバル補助金で使う地区の補助金は各クラブの申請で使うことができる。七尾みなと RC さんは来年度4885ドル(約48万円)の4割程度の地区の補助金を申請できる。来年の1月28日補助金地区セミナーに参加すると地区の補助金申請の権利があります。いい事業についてどんどん申請していただきたい。

ロータリー財団の100周年はアトランタ国際大会でクライマックスを迎えます。私も財団生誕の街・アトランタへ行きますが、皆さんも一緒に行きましょう。

◎閉会点鐘 [週報担当：魚岸]

次週予告

11月29日(火) 12:30開会点鐘 番伊  
会員卓話 寺田 彰 会員

今週の例会担当者： 木村、三井、川島、永江、岡崎  
(11/22)

次週の例会担当者： 辰田、中越、久保、長坂、大森  
(11/29)